

紅茶占い？：独専門家が MH17 写真スクープを疑問とする

【訳者注】MH17 問題について、キエフとキエフを支持する側が、ロシアを犯人とする“証拠”を持ち出すたびに、マイナス点を稼いでいる。これはその一例であって、他にいくらかでも例がある。世界が一々相手にしないだけである。ただロシア側から次々と出される証拠を、メディアが無視していることが、彼らの力になっている。

June 5, 2015

RT



ドネツク地区にある Buk ミサイル防衛ユニット、ドネツク市の北 5 キロ、2014 年 7 月 14 日（事件の 3 日前）——写真はロシア防衛省の好意による

ドイツの画像調査専門家が、イギリスのオンライン調査グループ Bellingcat の解析のごまかしを暴いた。このグループはロシアが、MH17 惨事の衛星写真に手を加えたとして、ロシアを非難していた。彼はこの調査を「主観的」で「全く科学に基づくものではない」と評した。

関連記事：「キエフが外国武装軍をウクライナに引き込む予定——核運搬車も含めて」

<http://rt.com/news/265093-ukraine-law-foreign-forces>

マレーシア航空 MH17 便機が、昨年 7 月 17 日、東ウクライナで撃墜され、283 人の旅客と 15 人の乗務員すべてが死んだ。キエフと東ウクライナ反政府勢力の双方が、この惨事の犯行を互いになすりつけた。キエフはまた、撃墜の現場近くには、ウクライナのジェット機も対空装置もなかったと主張した。

しかし証拠の提出となると、その話を支持することは簡単ではなかった。7 月の終わりにロシアの国防長官が、撃墜の直前に MH17 を尾行しているキエフの空軍ジェット機（複数）を示す、軍のモニター・データを公表した。国防省はまた、キエフがその対空防衛装置を配備していた場所の近くの衛星写真を掲載した。

撃墜のあった日、「ウクライナ軍は、Buk-M1 SAM システムを装備した、3 つか 4 つの対空防衛大隊を、ドネツク近くに配備していた」と、ロシア空軍中将 **Andrey Kartoplov** は、収集された情報を説明して言った。

西側のジャーナリストのある者は、この衛星データを“作り物”として退け、ベリングキャットはこの写真の“解析”まで行ったのだと言った。

関連記事：「MH17 調査団が、Buk ミサイル・シナリオを証拠立てる目撃者を捜している」
<http://rt.com/news/245449-mh17-crash-buk-investigation/>

しかし、ドイツの映像調査専門家 **Jens Kriese** は、デア・シュピーゲル紙とのインタビューで、これらの写真が操作されたかどうかは、実はわからないと言った。

「法的調査の観点からは、ベリングキャットのやり方は、あまり信用できないものだ。彼らがやっていることの核心は、いわゆる「エラー・レベル解析」(ELA) に基づくものだ。この方法は主観的で、全く科学に基づくものではない」と、彼はデア・シュピーゲルに話した。

「ベリングキャットがやっていることは、“紅茶占い” 以上のものではない。〈エラー・レベル解析〉は趣味の写真家の使う方法だ」と、プロの映像アナリストで元科学者のクリーゼは言った。



彼は更に続けて、ELA は明瞭な結果を生ずるものでなく、結論は常に人間の解釈に基づいていると説明した。

ロシア政府はフォトショップ（画像加工ソフト）を用いて、ウクライナの Buk ミサイル発射台の写真を操作した、というベリングキャットの主張について聞かれると、クリーゼははっきり懐疑的だった――



関連記事：「ロシア調査団が、MH17 撃墜の“主要目撃者”の正体を明らかにする」

<http://rt.com/news/264545-mh17-investigators-key-witness/>

「実は、フォトショップがメタデータにおいて示すものは、何の証明にもならない」と彼は言った。「もちろんロシア政府は、衛星写真を公表するための加工処理として、何らかのプログラムを用いなければならなかった。彼らは、一般の人々に説明するために、枠を加えたり、テキストを入れたりした。確認されている人工物はそこから生じたものか——それとも、何度も JPG フォーマットにかける手間を省くために生じたものであり得る。」

「この写真が、モスクワの主張するものを示すものかどうかは、知りようがない」と、クリーゼは付け加えた。「しかし、我々に言えることは、この“分析”は、ベリングキャットの存在を宣伝したこと以外に、何の成果もあげていないことだ。」

その報告の中で、ベリングキャットは、ロシア政府は「大衆、地球共同体、それに MH17 便の遺族を騙す明らかな試みをした」と非難している。<https://www.bellingcat.com/news/uk-and-europe/2015/05/31/mh17-forensic-analysis-of-satellite-images-released-by-the-russian-ministry-of-defence/>

ベリングキャットの主張は、大部分、ウェブサイト FotoForensic.com を使って行われた衛星写真の分析に基づいたものだった。しかし、このウェブサイトの創設者でさえ、このグループの仕事の真実性を納得していないようだ。

Neal Krawetz 博士は、FotoForensics サイトを設立した法的調査研究者である。ツイッターで、ベリングキャットの仕事について訊ねられると、クラウエッツは、彼らの試みを評して“映像解析をやらない方法”だと言った。「正直なところ、私はベリングキャットに注目さえしていなかった。私は、彼らの報告が、私のツールを誤用したものであることに気づいていただけだ。」

それでも、イギリスを本拠とするベリングキャット・グループの報告は、ただちに地球的メディアのビッグニュースとなり、デイリー・メール、テレグラフ、ドイチェ・ウェレなどが彼らの主張を報道した。

すべての新聞が肯定したわけではない。専門家からの批判に加えて、有名なロシアのブロガー Tima aka ntv もまた、この告発のウソを暴いたと言っている。彼はベリングキャットの仕事に多数の明らかな間違いを発見したと言う。

このブロガーは、ベリングキャット自身のウェブサイトの写真を解析したところ、モスクワ非難に使ったのと同じ、フォトショップを使った操作の証拠が見つかったと言っている。

<https://youtu.be/i78iwAYTPsA>

彼は次に説明して、写真をダウンサイズするときには、Adobe Photoshop CS5 ソフトウェアを用いるのが現実的な標準の方法で、だからこそロシアの国防省はそれを使ったと思われると言った。

このブロガーは、ELA の方法を完全に退けた。ELA は、一つの写真の内部に異なった圧縮レベルの部分があるのを探す場合、つまりその写真が変更されているかどうかを発見するのに使われる。ベリングキャットは、そのような部分を 5 カ所発見したと主張した。

ティーマは、編集されていないことが確実な写真を何枚か、ELA を用いて解析してみた後で、さまざまな圧縮レベルがあるのを発見した。つまり、この方法は一貫したものでなく、信用できないことがわかったと彼は言った。

ベリングキャットの創始者 Eliot Higgins、別名 Brown Moses は、RT の In the Now という番組に出て、この噂にコメントするように求められた。彼はその招待を断り、その代りにツイッターで皮肉を言うことにした。

ヒギンズは、あるシンプソンズ漫画のビデオを添付し、彼のインタビューは、おそらくひどく編集されることだろうと言ってきた。

ヒギンズ：「RT が私に e メールしてきて、MH17 ドキュメンタリー番組に出ないかと言ってきた。私は多分こんなことになるだろう。」

<https://youtu.be/gVQuZf1FewU>

ヒギンズの仕事が厳しい批判を浴びたのは、これが初めてではない。去る 2 月、ガーディアン紙は、ヒギンズが共同で書いたある記事を修正しなければならなくなった——彼は、ロシア軍が、ロシア国境内部からウクライナ軍を銃撃していると非難した。

<http://sputniknews.com/military/20150219/1018504330.html>

関連記事：「MH17 は、ロシアでは使われていない古い Buk ミサイル M1 によって撃墜された可能性——製造会社」

<http://rt.com/news/264421-buk-missile-manufacturer-investigation/>

また今週、Buk ミサイル装置の製造会社 Almaz-Antey は、MH17 の撃墜について独自の調査を行ったと発表した。このロシアの防衛請負業者は、もし MH17 便機を撃ち落としたのが対空ミサイルであるとしたら、それは Buk ミサイル M1 システムのものである可能性が濃厚だが、そのシステムは 1999 年以來、製造していないことを明らかにした。

Almaz-Antey 社は、ロシアではそのような兵器はもはや使われていないと言った。しかしこの会社の主任エンジニア Makhail Malyshev によれば、2005 年にはウクライナは、まだこの種のミサイルを 1000 台ばかり持っていた。

オランダの調査団は、いまだに MH17 惨事の究明を終えていない。しかしメディアに対するいくつかのリークでは、Buk ミサイル説が、相変わらず最も有力なように見える。

ウクライナ政府と西側は、ドネツクの民兵団を撃墜犯人だとして、彼らはロシアから供給された Buk 地对空ミサイルを使っていたと言っている。この非難は、反政府軍によって否定され続けており、モスクワは、撃墜の調査が完了する前には、誰をも非難しないように繰り返し注意している。